河北新報

2019年（平成31年）
3月11日（月）

河北新報社
〒980-8660
仙台市青葉区五橋1-2-28
www.kahoku.co.jp

「東」は、未来

総合案内 022(211)1111
読者相談室 (211)1447
ご購読申し込みは
オオク ミナヨム
0120-09-3746

東日本大震災 きょう8年

街に注ぐ光 信じ歩む

朝日を浴びる名取市閖上地区。5月に「まちびらき」を控え、街づくりが急ピッチで進む

東日本大震災は11日、発生から8年を迎える。巨大地震と津波、原発事故による犠牲者は行方不明者、関連死を含め全国で計2万2131人に上る。甚大な被害を受けた岩手、宮城、福島3県の各地で亡き人をしのび、祈りをささげる。

新しい街に、朝の光が差す。名取市閖上地区は昨年、災害公営住宅全46戸が完成。街づくりが急ピッチで進む。住民は計画の半数近い1000人に達した。5月に催される「まちびらき」は、平成に代わる新しい世の幕開けとも重なる。

3県では本年度中に災害公営住宅の98・7%が完成、民間住宅向けの宅地も97・7%が工事を終える。果てなく思えた復興事業はラストスパートに入った。一方で、福島県民を中心に全国の5万1778人（2月7日現在）が今も避難生活を送る。3000人以上はプレハブ仮設住宅の不自由な暮らしのまま。営みを取り戻す苦闘は続く。

被災者一人一人の胸の内にあまねく光が注ぐまで。復興は終わらない。

暮らし向き 復興足踏み
「厳しく」30%に悪化

東日本大震災と東京電力福島第1原発事故で被害を受けた岩手、宮城、福島3県沿岸部では、震災前と比べた暮らし向き全般が「厳しくなった」と感じる被災者が30・4%に上ることが10日、河北新報社とマーケティング・リサーチ会社マクロミル（東京）の共同調査で分かった。2018年の前回調査から1・6ポイントの微増だが、17年調査からの改善傾向が悪化に転じ、復興の歩みが足踏みした格好だ。

（3面に関連記事、15面に特集）

河北新報社 ネット共同調査

暮らし向き全般が「楽になった」は前年とほぼ変わらない14・9%（0・3ポイント増）。震災から8年が過ぎ、被災者における復興の二極化が続く状況を示した。暮らし向きのうち仕事の確保が「厳しくなった」は24・3%で3・6ポイント悪化。「楽になった」は15・5%で1・7ポイント減った。

一方、自分が住む街の復興は「楽になった・改善している」が30・1%と8・1ポイント上昇。住宅の再建は「厳しくなった」が5・5ポイント改善の20・1%となり、復興まちづくりや災害公営住宅の整備が進展する状況が反映された。

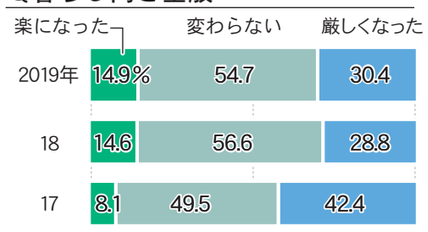
復興の進み具合を10%刻みで選ぶ「復興度」の5グループ平均は57・4%で、18年比3・6ポイント上昇。沿岸部被災者の59・5%に対し、首都圏が52・8%、大阪北部地震被災者が48・9%となり、遠隔地ほど低くなった。被災地の情報量の差が影響したとみられる。

復興が遅れていると思う分野を選ぶ設問では、沿岸部被災者は「防潮堤・高台移転」33・7%、「道路・鉄道などの交通」「風評被害対策」31・4%が多かったのに対し、被災3県以外の地域は「住宅再建・宅地造成」が40～60%を占めた。復興に対するイメージの地域間ギャップがこの点でも浮き彫りになった。

また、被災3県内陸部では「風評被害対策」の遅れを指摘する意見が41・7%と最も高かった。原発事故から8年が経過する今も広範囲に被害が意識される実情がうかがえる。

震災を意識する頻度は「ほとんど意識しない」が沿岸部被災者で18・8%（2・9ポイント増）に対し、同じ沿岸部の非被災者は32・2%（6・5ポイント減）となり、風化の進展にばらつきが出た。首都圏は41・3%（0・3ポイント増）だった。

Q暮らし向き全般



調査の方法　2月2～18日、マクロミルが保有する20代以上のネットモニター1785人から回答を得た。内訳は①被災3県沿岸部の被災者309人②被災3県沿岸部の非被災者242人③被災3県内陸部312人④青森、秋田、山形3県301人⑤首都圏（東京、埼玉、千葉、神奈川1都3県）312人⑥北海道地震の被災者103人⑦西日本豪雨の被災者103人⑧大阪北部地震の被災者103人。全体の集計は過去との比較のため①～⑤（1476人）を対象とした。仙台市は宮城野、若林両区を沿岸部とみなした。回答者は沿岸部は無作為、その他は都道府県ごとに2015年国勢調査の結果に基づき抽出した。

再生へ心ひとつに

東日本大震災 8年

社説　歳月を経ても復興は途上だ　7

石巻 園児の慰霊碑除幕式　30

震災で犠牲になった私立日和幼稚園（石巻市、休園中）の園児の遺族有志が被災現場付近に慰霊碑を建立し、除幕式があった。遺族は命を守る教訓の伝承を願った。

気仙沼市「伝承館」が開館　31

気仙沼市が整備した「震災遺構・伝承館」が開館した。宮城県内外から約1000人が訪問。津波被害を受けた気仙沼向洋高の旧校舎を見学し、あの日の教訓を胸に刻んだ。

仙台で防災未来フォーラム　3
J1仙台 復興へ思い熱く　12 13 19 30
人口減少 被災地に影　16 17
災害住宅 石巻市全4456戸整備完了　18
旧野蒜駅で市民ミュージカル　19
まなこに映る 2人の姿　31

3県の被災状況

			2019年 2月1日現在	2011年 3月1日現在
人口		岩手	123万6818人	132万6643人
		宮城	231万 818人	234万6853人
		福島	185万7366人	202万4401人
避難者 2月7日現在 かっこ内はピーク時	県内	岩手	3666人	（4万3953人）
		宮城	2083人	（12万8197人）
		福島	9322人	（10万1320人）
	県外	岩手	1028人	（1702人）
		宮城	4196人	（8633人）
		福島	3万2631人	（6万2831人）
			死者	行方不明者
死者・行方不明者 3月8日現在		岩手	4674人	1114人
		宮城	9542人	1219人
		福島	1614人	196人
		全国	1万5897人	2533人
震災関連死		岩手	467人	2月末現在
		宮城	928人	2月末現在
		福島	2270人	3月6日現在
		全国	3701人	18年9月末現在

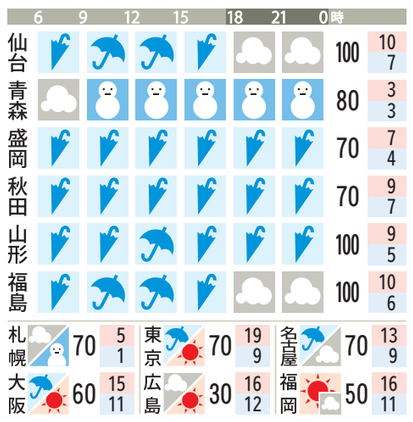
東北楽天　開幕投手に岸指名　10
大リーグ　菊池初登板 21日東京で　10

GoGo 89ERS　◇10日の結果　仙台 88－70 福島　9

燃えろ ベガルタ　◇10日の結果　神戸 3－1 仙台

声の交差点 7
スポーツ 9 10 12 13
宮城県内版 18～21 23
くらし・小説 25
BS・ラジオ 27
囲碁・将棋 27
ワイド東北 28
テレビ 32

きょうの天気



河北春秋

石巻市の美術教室「アトリエ・コパン」に小さな絵が飾られている。教室を開く新妻健悦さん(71)を描いたイラスト。ポーズを取り、笑っている。「みつま先生　2011年よろしく!!」という文字が添えてある。当時8歳の女の子が描いた▼3歳年上の兄らとともに、東日本大震災の津波の犠牲になった。「彼女には『にいつま』が『みつま』と聞こえたのでしょうね。みつま先生と呼ばれていました」と新妻さん。2人とも教室が大好きだった▼震災では教室の子どもの大半が被災した。家族や友人を失った子、自宅を流された子…。ずっと飼い犬の帰りを待ち続ける子がいた。首都圏の学校に進学したが、震災に無関心な周囲とのギャップが大きすぎて津波体験を語れず、苦しむ子もいた。震災から8年。多くが高校、大学生や社会人になった▼今は石巻と仙台の教室で小中高生約100人が学ぶ。震災の実感がない子どもが大半。被災した子に対しては、そばにいてそっと見守る▼昨年、教室で「無人島に何を持っていく?」と聞いた時、ある女の子が野菜の種と答えた。子どもたちは前に向かってたくましく生きようとしている。「強く、諦めず、誠実にやり遂げる大人に育ってほしい」と新妻さん。美術はきっとそんな大人になるための力になる。（2019・3・11）

政府広報｜内閣府

東日本大震災で犠牲となられた方々への追悼をお願いします

本日、政府主催の「東日本大震災八周年追悼式」が行われます。皆様には、午後2時46分から1分間の黙とうをお願いいたします。これからも、復興に向けて全力で取り組んでまいります。

東日本大震災から八年　復興を支える一冊

晶文社
あわいゆくころ
瀬尾夏美
陸前高田、震災後を生きる
3・11後、陸前高田へ移り住んだ絵と言葉のアーティストが、ツイッターで紡いできた震災後七年間の日記文学。2160円
帯文・鷲田清一／皇山直哉
〒101-0051 千代田区神田神保町1-11
Tel 03-3518-4940　Fax 03-3518-4944
http://www.shobunsha.co.jp/　価格税込

佼成出版社
気仙沼発、ヒューマンドキュメント！
デニムさん
気仙沼・オイカワデニムが作る復興のジーンズ
今関信子 著
〈感動ノンフィクションシリーズ〉読みがな付き／小学校高学年から
世界に誇る高い技術を持つオイカワデニム。"デニムさん"の愛称で親しまれる及川秀子社長のひたむきな生き方は、地元の気仙沼に元気を与え復興に大きな役割を果たした。その姿を希望あふれるタッチで描く。
◎A5判上製／128頁／本体1500円＋税
〒166-8535 東京都杉並区和田2-7-1
☎03(5385)2323 FAX03(5385)2334
http://www.kosei-shuppan.co.jp/

創元社
絵本作家たちが描く、震災をめぐる或る日の記憶。
あの日からの或る日の絵とことば
―3・11と子どもの本の作家たち
196×173mm・上製・144頁／定価（本体1700円＋税）
〈編〉筒井大介
〈絵とエッセイ〉荒井良二、飯野和好、ささめやゆき、スズキコージ、ツペラツペラ、ミロコマチコ、ヨシタケシンスケ、他
大阪市中央区淡路町4-3-6
☎06-6231-9010 Fax06-6233-3111
千代田区神田神保町1-2 ☎03-6811-0662

海鳥社
小さなぼくの奇跡の旅！【日本語版&英語版を収録】
サッカーボール海を渡る
飼牛万里
東日本を襲った大震災と、その直後に来た巨大津波。ひとりぼっちで海に投げ出されたぼくの運命は？子どもから大人まで味わえる希望の物語。
定価（本体1500円＋税）
〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町13-4
☎092(272)0120 FAX092(272)0121
http://www.kaichosha-f.co.jp

第三文明社
1945・3・10（東京大空襲）と2011・3・11（東日本大震災）を超えて。
三月の空を見上げて
―戦災孤児から児童文学作家へ
漆原智良
数多くの著書をもつ児童文化功労賞受賞作家が人との出会いを宝として歩んだ85年の人生をつづる。
定価 1,400円＋税
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-23-5
03-5269-7145（注文専用）03-5269-7144（営業代表）
お近くの書店または楽天ブックスでもお求めになれます。TEL 0120-29-9625

海文堂出版
東日本大震災
「災害遺産」に学ぶ
来たるべき大地震で同じ過ちを繰り返さないために
宮城県内における災害遺産を選び、日本各地で防災教育の担い手となるべき人たちに、被災現場で起きていたこと、そこに示されている重要な知見、教訓などをオールカラーで伝える。
谷口宏充・菅原大助・植木貞人 共著　定価（本体2200円＋税）
〒112-0005 東京都文京区水道2-5-4
TEL(03)3815-3291 FAX3815-3953
http://www.kaibundo.jp/

京都大学学術出版会
経験を語り伝えること、そして耳を傾けること
トラウマ研究
田中雅一・松嶋 健 編
1 トラウマを生きる　7800円
トラウマ概念はどのように成立してきたのか。また文化・社会的にどのように理解・表現され、克服されてきたか
2 トラウマを共有する　6200円
集合的経験を乗り越えるためのかすかな光に触れた証言者たちの苦闘
【全2冊】
4月初旬刊行予定
教育現場の防災読本
中井 仁 監修　3800円
災害メカニズムから法律・医療まで本法初の体系的防災教育書
〒606-8315 京都市左京区吉田近衛町69
京大吉田南構内 TEL 075-761-6182（税抜）

岩波書店
震災から八年。書き継がれてきた多彩な言葉たち。
3・11を心に刻んで 2019
岩波書店編集部編　約三〇〇名が書き継ぐウェブ連載の第八期分、河北新報によるレポート「慰霊碑をたどる」、特別企画「3・11を考えつづけるためのブックガイド」を収録。
【岩波ブックレット】A5判・本体780円（税別）
〒101-8002 東京都千代田区一ツ橋
http://www.iwanami.co.jp/